

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		コベルプラスセンター北教室				公表日 2024年12月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	同時時間帯に3名様までの個別レッスンとなり、交替で粗大運動を行ないますので、安全性に問題はありません。	集団レッスンの場合、最大6名様となり、ブレイルームでの課題は安全性の精査が必要な場合があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	職員に体調不良者が出た時等に、利用者様へお願いし、急遽の集団レッスン編成にさせていただくこともあるが、質の高いレッスンをご提供できていると思います。	会社が思う「適切」と従業員が思う「適切」が乖離しているように思う、という意見もあり人員確保には課題も残ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	タイムタイマーを使用し、レッスンが始まる時間をわかりやすくしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日清掃をしている。安全面にも配慮し、コーナークッションも設置しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じ、クールダウンのためのお部屋を用意しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	都度のレッスンの引継ぎを、丁寧に言うと同時に、保護者からの相談内容も共有しています。気付いたこと、保護者様の反応などを共有しやすい雰囲気です。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	回収させていただいたアンケートは、職員全員で共有させていただいております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に1度個人面談の機会があり、上長に相談できています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	親会社・横浜市・神奈川県等の監査があります。	第三者評価は実施しておりませんが、必要な場合には本部と共有した上で検討をしております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	基礎的な研修は、本部が提供してくれています。	療育の質の改善につながる研修は、個人で受けるしかないのが現状です。営業時間内は厳しいです。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	アンケートでも、高評価をいただきました。ホームページにて公開されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	丁寧にアセスメントをとり、課題分析を行なったうえで作成しております。策定会議を全利用者様分を行っています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	モニタリングを全員参加で行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個々のアイデアを共有することもできています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	コベルプラスとして、標準化されたツールとともに、日々の行動観察や保護者様からのききとりも重視しています。	ピネーやWISK等の知能検査に対応できる職員が在籍していません。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	特に集団レッスンでは、都度の目的と、メインの指導員の方針を鑑みながら、補助指導員との間で密に役割分担について話し合いがもたれています。	引継ぎに時間がかかりすぎてしまうこともあります。方策を検討していきたいと思えます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	翌朝に前回のレッスンについての振り返りを必ず行っています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	お子さまの様子を鑑みながら、適宜教材をスペシャルニーズに応じて作成することもあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団レッスンも、皆で話し合い、専門の実施支援の指導員から助言をもらった上で構成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	引継ぎを丁寧に行なっています。構造化の必要なことはお互いに依頼しあっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	気付いたこと、保護者様の反応などを共有しやすい雰囲気の中、共有しています。次回への引継ぎとして共有しています。場合によってはすぐに共有することもあります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	ケア記録を重視し、次回に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	全員がモニタリングに参加し、意見を出し合います。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	教室長が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	関係機関との連携と言う形で、右記と同等の訪問を行ない、会議の時間も設けています。保護者様に丁寧にお伝えしています。	保育所等訪問支援のご依頼はあるが、まだ連携のみの段階である。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者様にご意向をお聞きしながら、個別支援計画のお渡しをさせていただいています。幼稚園・保育園様が療育をご覧になりに訪問されることが増えています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	ご依頼によって、移行支援書類を作成しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	必要に応じて、療育センターの作業療法士の取り組みを拝見したり、川崎西部療育センターへの訪問したり、支援計画のお渡しもしたりしています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		保育園・幼稚園にお通いの利用者さんが殆どであるため行っていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	令和6年4月から、子育てサポートシステム導入により、保護者様との共通理解を持つ機会がふえました。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	ペアレントトレーニングは年に2回、小学生のお母様をおよびしての保護者会も定期的に行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	ご体験の際と契約時に、教室長が行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメントシート・発達段階シートを毎度更新いただき、児童発達支援の5領域についてヒアリングをしています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	丁寧に説明を行なっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	毎度のレッスンのフィードバックの際や、子育てサポートとして定期的に助言を行なっている。ご希望により、30分以上の面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	小学生のお母様のお話は、進路等に悩む保護様にとって、大変参考になると大評判です。	保護者会は開催しておりますが、保護者同士というよりは、OGの話聞く会です。ごきょうだいどうしの交流会等はございません。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	なるべくその日のうちに、迅速に対応し、申し入れがあった方へご報告しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	インスタグラム、LINE、ブログを活用して情報発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	ファイルは職員室のみで閲覧し、帰日も鍵のかかる書庫へ保管し、かつ専用のキーケースへ入れ、ダイヤルを回しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	お耳の聞こえづらい保護者様とは、ホワイトボードに書き合う、教室携帯とのLINE交換をさせていただき、急なお休みに対応しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地元の小児科様などに、レッスンのご見学を提案させていただくこともありますが、行事というものはありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルの定期的な読み合わせとともに、不審者対応や嘔吐発生時のシミュレーションをし、訓練をしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年に2回行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者様がお伝え下さっています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食事の提供はしていませんが、小麦ねんどを使用するため、事前に確認しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	定期的に点検・研修をしております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に、ご説明をさせていただいております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットが出た場合は、速やかに報告書をあげ、翌日の昼までに共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修を定期的に行っております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	契約時にご説明し、書面にて署名・捺印をいただいております。		